

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公開番号】特開2002-274534(P2002-274534A)

【公開日】平成14年9月25日(2002.9.25)

【出願番号】特願2001-74307(P2001-74307)

【国際特許分類】

B 6 5 D 5/72 (2006.01)

B 6 5 D 25/52 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 5/72 A

B 6 5 D 25/52 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月23日(2008.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ロール状に巻かれた被包装体を収納する容器本体と、該容器本体の後面壁の頂縁から回動可能に連設されている蓋体とを備える包装用容器において、

前記容器本体の前面壁が、前記容器本体の底面壁に一方の長縁が連設された第 1 壁体と、前記第 1 壁体の他方の長縁に連設された第 2 壁体であって、折り曲げられて前記第 1 壁体の裏面に接着された第 2 壁体とからなり、

前記第 1 壁体に、外側に突出される突出片となる突出片部分を画成する切り線が形成されており、

前記切り線の両端がそれぞれ前記第 1 壁体と前記第 2 壁体との間の折り線まで又は前記折り線を越えて前記第 2 壁体まで延びていることを特徴とする包装用容器。

【請求項 2】 前記切り線が略 U 字状であることを特徴とする請求項 1 に記載の包装用容器。

【請求項 3】 前記突出片部分が、前記容器本体の前記前面壁の長手方向中央部に画成されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の包装用容器。

【請求項 4】 前記蓋体の前記前面壁の先端縁部に被包装体切断用のカッターが設けられていることを特徴とする請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の包装用容器。

【請求項 5】 前記蓋体の前記前面壁の先端縁に連設され且つ前記容器本体の前記前面壁に接着される切除可能な開封片を備え、

閉蓋状態において前記開封片が覆う前記第 1 壁体の部位であって、前記突出片部分に隣接する部位に、前記開封片に接着され該開封片と共に除去されるようミシン目により画成された切除部分が設けられており、

前記切除部分が前記突出片部分にミシン目を介して連設されていることを特徴とする請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の包装用容器。

【請求項 6】 前記被包装体が樹脂製フィルムであることを特徴とする請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の包装用容器。